

## 令和3年度 第3回「松茂ゆめ・ミライ塾」について

1 日時 1月20日(木) 10:40~11:30(50分)

2 テーマ 「諦めない心」

3 講師 よこた しんたろう  
横田 慎太郎 先生  
(元プロ野球選手)

4 会場 体育館

5 参加者 松茂中生徒(1~3年)・教職員  
校区幼小教職員・PTA



6 講師について

### 【略歴】

鹿児島実業高等学校への進学後は、1年生の秋から4番打者を任せられ、3年時には投手を兼務しエースとしても活躍。高校通算で29本塁打を記録。2013年のNPBドラフト会議で、阪神タイガースから2巡目で指名を受け、桧山進次郎選手が付けていた背番号24を引き継ぐ。

2017年にキャンプの中盤に原因不明の頭痛が続いた。キャンプ離脱後の精密検査で脳腫瘍と診断されたが、診断から半年にわたる入院加療によって症状が寛解したことを公表した。

2018年安芸キャンプへ初日から参加。脳腫瘍からの実戦復帰に向けて実践練習や打撃練習に加わった。実戦への復帰には至らなかったものの、体調は徐々に回復。

しかし、2019年春季キャンプで「自分で打った球(の軌道や方向)が全く見えない」「(打撃練習で味方の)投手に投げてもらった球が二重に見える」などといった視覚面の問題が解消されず、9月22日に現役引退を正式に発表する。

同月26日に福岡ソフトバンクホークスとのウエスタン・リーグ最終戦で、1096日振りの公式戦出場を果たす。当初は9回表から中堅の守備に就く予定だったが、平田勝男二軍監督の発案で、8回表2死二塁の局面から出場。塚田正義選手が打ったゴロ(記録は中前安打)を捕球すると、本塁へのノーバウンド送球で二塁走者の水谷瞬を補殺するファインプレーで現役生活を締めくくった。この試合は阪神の二軍におけるシーズン最後の公式戦でもあったため、球団では試合終了後に、横田選手の引退セレモニーを開催した。



現在、本塁へのノーバウンド送球で二塁走者の水谷瞬を補殺するファインプレーで現役生活を締めくくった。この試合は阪神の二軍におけるシーズン最後の公式戦でもあったため、球団では試合終了後に、横田選手の引退セレモニーを開催した。

現在は鹿児島県内で单身生活を送りながら、講演やコラム執筆などの活動を展開。2021年5月12日には、阪神入団までの道のりや、脳腫瘍を発症してからの苦悩などを綴った自身初の著書『奇跡のバックホーム』が幻冬舎から発売。同年12月13日の『逆転人生』(NHK)では、脳腫瘍が判明した後のリハビリから引退試合に至るまでの映像、本人がスタジオや阪神鳴尾浜球場での収録中に語った体験談や再現映像が「神様がくれた奇跡のバックホーム」というタイトルで放送された。